

令和 年 月 日

公益財団法人京都産業21  
理事長様

所在地  
名称(法人名)  
代表者職氏名

中小企業共同型ものづくり支援事業補助金変更承認申請書

令和 年 月 日付け 京21第 号で交付決定通知の上記補助事業について、補助事業の内容を変更したいので、中小企業共同型ものづくり支援事業補助金交付要領第10条第1項の規定に基づき承認を申請します。

記

1 補助事業のテーマ名

2 事業実施期間

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

3 変更内容等

(1) 変更事項

<事業実施期間>

交付決定通知書に記載された「事業実施期間」を記載してください。

ただし、実施期間について、既に変更承認を受けている場合は、その承認を受けた期間を記載してください。

(2) 変更前及び変更後

上記(1)の変更事項に係る変更前及び変更後の内容を記載してください。

ア 経費変更

【単位：千円（税抜）】

経費区分	経費等	変更事項に係る経費	
		変更前	変更後
	旅 費		
	直接人件費		
	材料・消耗品費		
	備品購入費等		
	外注・委託費		
	その他直接経費		
	補助対象経費 合 計		

イ 事業計画又は事業内容の変更

変更事項	変更前	変更後

4 変更の理由

【第3号様式-2】(第10条関係) 交付決定企業ごとに提出

令和 年 月 日

公益財団法人京都産業21  
理事長 様

所在地  
名称(法人名)  
代表者職氏名

中小企業共同型ものづくり支援事業補助金変更届

令和 年 月 日付け 京21第 号で交付決定通知の上記補助事業について、下記のとおり変更しますので、中小企業共同型ものづくり支援事業補助金要領第10条第2項の規定に基づき報告します。

記

1 補助事業のテーマ名

2 事業実施期間

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

3 変更内容

※補助事業者の名称、所在地、代表者等の変更は下表に記入してください。  
また、変更内容が確認できる書類(法人登記簿謄本等)の写しを添付してください。

変更内容	変更前	変更後	変更理由

※構成メンバーの変更の場合は下表に記入してください。

「追加・削除・変更」欄には、構成メンバーを追加する場合は「追加」、削除する場合は「削除」、メンバーの所属等を変更する場合は「変更」を記入してください。

追加・削除 ・変更	氏名	所属・役職	役割分担

4 変更日 令和 年 月 日

【第3号様式-3】(第10条関係)

交付決定企業ごとに提出

令和 年 月 日

公益財団法人京都産業21  
理事長様

所在地  
名称(法人名)  
代表者職氏名

中小企業共同型ものづくり支援事業補助金中止(廃止)承認申請書

令和 年 月 日付け 京21第 号で交付決定通知の上記事業に関して、中止(廃止)したいので、中小企業共同型ものづくり支援事業補助金交付要領第10条第3項の規定に基づき申請します。

記

1 補助事業のテーマ名

2 事業実施期間

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

3 事業を中止(廃止)する理由

中止予定日

(添付書類)中止(廃止)までの内容を実績報告書(第5号様式)に記載して添付すること。

令和 年 月 日

公益財団法人京都産業21  
理事長 様

所在地  
名称（法人名）  
代表者職氏名

中小企業共同型ものづくり支援事業補助金進捗状況報告書

令和 年 月 日付け 京21第 号で交付決定通知の上記事業について、補助事業の遂行状況等について中小企業共同型ものづくり支援事業補助金交付要領第12条第2項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

- 1 補助事業のテーマ名
- 2 事業実施期間  
令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
- 3 報告対象期間  
令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
- 4 補助事業の進捗状況  
第4号様式別紙1のとおり
- 5 事業に要する経費の支出状況  
第4号様式別紙2のとおり

【第4号様式 別紙1】(第12条関係)

補助事業の進捗報告

1 当該期間の進捗状況(総括)

2 当該期間の進捗状況(詳細)

事業計画に合わせて具体的に分かりやすく記載してください。

① 事業計画	
② 進捗状況	
③ 差異があった場合、その理由	
④ 上記③の差異による影響・見直しなど	実施計画について、実績などを踏まえて計画の見直しなどの特記すべき事項を記載してください。

3 その他関連データ

・雇用

・マスコミ発表等(発表した資料も添付すること)

・知的財産権等

令和 年 月 日

公益財団法人京都産業21  
理事長様

所在地  
名称(法人名)  
代表者職氏名

中小企業共同型ものづくり支援事業補助金実績報告書

令和 年 月 日付け 京21第 号で交付決定通知の上記事業について、補助事業が完了(対象期間が終了)しましたので、補助事業実施の実績について中小企業共同型ものづくり支援事業助金交付要領第13条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

- 1 補助事業のテーマ名
- 2 事業実施期間  
令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
- 3 事業成果等  
第5号様式別紙1のとおり
- 4 補助金交付決定額 円
- 5 事業化に要した金額 円
- 6 補助金支援希望金額 千円  
「5 事業化に要した金額 × 1/2」と「交付決定額」のいずれか低い方。  
千円未満切捨て。
- 7 既概算払受領済額 千円  
概算払を受けられた方はその金額。無ければ「0千円」。
- 8 補助金精算払希望額(6-7) 千円

※ 経費支出明細は、第5号様式別紙2のとおり

【第5号様式 別紙1】(第13条関係)

中小企業共同型ものづくり支援事業補助金事業成果等報告

1 事業実績(総括)

※本事業によって得られたデータや、構成企業との事業取組結果、関連する新聞記事等も添付し、成果をまとめてください。

2 事業実績(詳細)

(1) 事業の目標及び計画に対する実績等(事業計画に対する実績・成果、変更内容等)

① 事業計画	※第1号様式 別紙1「事業計画書」に記載した事業内容と計画について、記載してください。
② 実績	※上記に対する達成状況及び実施状況について、記載してください。
③ 差異があった場合、その理由	
④ 上記③の差異による影響	※今後の実施計画について、実績などを踏まえて計画の見直しなどの特記すべき事項を記載してください。



(2) 知的財産権の出願又は取得（譲渡・実施権の設定）

うち 本事業	出願中	件
	うち審査請求済	件
	登録済	件

※本事業に係る知的財産権等（交付決定期間内）に出願、権利設定などがあったものについては、実績報告時点での以下の内容を記載してください。

- ・種類（知的財産権等の種類、発明等の名称及び番号）
- ・出願、審査請求又は取得等（譲渡・実施権の設定を含む）の年月日
- ・内容
- ・相手先及び条件（譲渡又は実施権の設定の場合）

(3) 雇用創出の状況

※良質雇用とは所定内給与額の1ヶ月当たりの平均が 216,300 円以上であること、月平均所定外労働時間が 20 時間以下であることの双方を満たすものをいいます。

会社全体	従業員数	人	うち 本事業	従業員数	人
	うち新規雇用	人		うち新規雇用	人
	うち新規良質雇用	人		うち新規良質雇用	人

3 財務状況

決算報告書（貸借対照表、損益計算書を含む）のとおり。

※直近の決算報告書を添付してください。

4 事業総括及び今後の取組

(1) 事業着手から実績を踏まえた総括、社内外トピックス等についての自己総括の内容

(2) 今後の見込み等

請 求 書

金 額		千	百	十	万	千	百	十	円
-----	--	---	---	---	---	---	---	---	---

ただし、中小企業共同型ものづくり支援事業補助金（概算払・精算払）として

上記の金額を請求します

令和 年 月 日

公益財団法人京都産業21 理事長 様

(請求者)  
所 在 地  
名 称 (法人名)  
代表者 (職・氏名)

本書の金額は、下記口座に振込願います

口座開設場所 および預金種別	銀 行 信用金庫	支 店	普 通 当 座	口座番号
口 座 名 義	(フリガナ)			

【第7号様式】（第16条関係） 交付決定企業ごとに提出

令和 年 月 日

公益財団法人京都産業21  
理事長様

所在地  
名称（法人名）  
代表者職氏名

中小企業共同型ものづくり支援事業補助金概算払申請書

令和3年 月 日付け 京21第 号で交付決定通知の上記事業について、補助金の概算払を請求したいので中小企業共同型ものづくり支援事業補助金交付要領第16条第2項の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

- 1 補助事業のテーマ名
- 2 今回概算払希望額 千円（千円未満切り捨て）  
※積算明細は別紙のとおり  
進捗状況報告書（第4号様式 別紙1及び2）に必要事項を記入してください。
- 3 交付決定通知額 千円
- 4 既概算払受領済額 千円

- ・ 財団理事長が概算払いを決定した場合、第6号様式により請求書を提出してください。
- ・ 直接人件費は概算払の対象となりません。

【第8号様式】(第21条関係) 交付決定企業ごとに提出

令和 年 月 日

申請者氏名又は名称

中小企業共同型ものづくり支援事業補助金  
取得財産管理台帳

(単位：円)

区分 財産名	規格	数量	単価	金額	取得 年月日	保管 場所	法定 耐用 年数	備考

注 数量は、同一規格であれば一括して記載して差し支えありません。ただし、単価が異なる場合には区分して記載してください。

令和 年 月 日

公益財団法人京都産業21  
理事長様

所在地  
名称（法人名）  
代表者職氏名

中小企業共同型ものづくり支援事業補助金財産処分承認申請書

令和3年 月 日付け 京21第 号で交付決定通知の上記事業について、下記の財産を処分したいので、中小企業共同型ものづくり支援事業補助金交付要領第21条第3項の規定に基づき承認を申請します。

記

1 補助事業のテーマ名

2 取得財産の内容及び取得年月日

令和 年 月 日

3 取得価格（税込）

円

4 処分の予定日

令和 年 月 日

5 処分の方法

6 処分の理由

公益財団法人京都産業21  
理 事 長 様

所 在 地  
名称（法人名）  
代表者職氏名

中小企業共同型ものづくり支援事業補助金事業化進捗状況・事業成果等報告書

令和3年 月 日付け 京21第 号で交付決定通知の上記事業について、事業化の進捗状況、事業成果の波及効果及び知的財産権等による利益の状況について中小企業共同型ものづくり支援事業補助金交付要領第23条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1 補助事業のテーマ名

2 補助事業期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日

3 報告対象期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日

4 補助事業の実施結果による事業化状況

（1）事業の目標及び計画に対する実績等（事業計画に対する実績・成果、変更内容等）

①事業計画	※第1号様式 別紙1「事業計画書」に記載した事業内容と計画について、記載してください。
②実 績	※上記に対する達成状況及び実施状況について、記載してください。
③差異があった場合、その理由	
④上記③の差異による影響・見直しなど	※今後の実施計画について、実績などを踏まえて計画の見直しなどの特記すべき事項を記載してください。

(2) 知的財産権の出願又は取得(譲渡・実施権の設定)

年 度		R4	R5	R6	R7	R8
		項 目				
本事業に 起因する 知財	出 願 中					
	うち審査請求中					
	登 録 済					

<備考> 各年度の決算期末時点の数値を記載ください。

当該報告期間における本補助事業に係る知的財産権等(出願、権利設定のあったもの)について、以下の内容を記入してください。)

- ・種類(知的財産権等の種類、発明等の名称及び番号)
- ・出願又は取得等(譲渡・実施権の設定を含む)の年月日
- ・内容
- ・相手先及び条件(譲渡または実施権の設定の場合)

(3) 雇用創出の状況

※良質雇用とは所定内給与額の1ヶ月当たりの平均が 216,300 円以上であること、月平均所定外労働時間が 20 時間以下であることの双方を満たすものをいいます。

会社全体	従業員数	人	うち 本事業	従業員数	人
	うち新規雇用	人		うち新規雇用	人
	うち新規良質雇用	人		うち新規良質雇用	人

5 財務状況

決算報告書(貸借対照表、損益計算書を含む)のとおり。

※決算報告書を添付してください。

6 成果の波及効果の状況

(注2)当該報告期の事業化等の状況について、申請時の目標及び計画に対する成果や、市場動向の状況に係るコメント等を記入してください。

7 当該補助事業に係る事業継続

(1) 補助期間終了後の事業動向

(2) 事業継続の内容(事業の状況等)・成果

(注3)事業継続が必要な背景や、本事業によって得られたデータ、製品・試作品等の写真、関連する新聞記事等を添付し、当該報告期の内容・成果をまとめてください。

公益財団法人京都産業21  
理 事 長 様

所 在 地  
名称（法人名）  
代表者職氏名

中小企業共同型ものづくり支援事業補助金事業化進捗状況・事業成果等報告書

令和3年 月 日付け 京21第 号で交付決定通知の上記事業について、事業化の進捗状況、事業成果の波及効果及び知的財産権等による利益の状況について中小企業共同型ものづくり支援事業補助金交付要領第23条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

- 1 補助事業のテーマ名
- 2 事業区分  
シェアリング・サポート事業
- 3 補助事業期間  
令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
- 4 報告対象期間  
令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
- 5 補助事業の実施結果による事業化状況

(1) 事業の目標及び計画に対する実績等（事業計画に対する実績・成果、変更内容等）

①事業計画	※第1号様式 別紙1「事業計画書」に記載した事業内容と計画について、記載してください。
②実 績	※上記に対する達成状況及び実施状況について、記載してください。
③差異があった場合、その理由	
④上記③の差異による影響・見直しなど	※今後の実施計画について、実績などを踏まえて計画の見直しなどの特記すべき事項を記載してください。



(2) 知的財産権の出願又は取得(譲渡・実施権の設定)

年 度		R4	R5	R6	R7	R8
本事業に 起因する 知財	出 願 中					
	うち審査請求中					
	登 録 済					

<備考> 各年度の決算期末時点の数値を記載ください。

当該報告期間における本補助事業に係る知的財産権等(出願、権利設定のあったもの)について、以下の内容を記入してください。

- ・種類(知的財産権等の種類、発明等の名称及び番号)
- ・出願又は取得等(譲渡・実施権の設定を含む)の年月日
- ・内容
- ・相手先及び条件(譲渡または実施権の設定の場合)

(3) 雇用創出の状況

※良質雇用とは所定内給与額の1ヶ月当たりの平均が 216,300 円以上であること、月平均所定外労働時間が 20 時間以下であることの双方を満たすものをいいます。

会社全体	従業員数	人	うち 本事業	従業員数	人
	うち新規雇用	人		うち新規雇用	人
	うち新規良質雇用	人		うち新規良質雇用	人

6 売上げ

(1) 会社全体の売上等

直近決算期:令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

(単位:百万円)

年 度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
科 目						
売 上						
営業利益						
経常利益						
当期利益 (税引後)						

(注1)決算報告書(貸借対照表、損益計算書を含む)を添付してください。

(2) 当該補助事業の売上及び売上原価

○売上(直近決算期間について記載。税抜)

(単位:円)

売上時期	事業名及び製品名	販売価格(円)	販売数	売上金額(円)
〇年〇月~〇年〇月				
売上合計				

9(1)①に金額を記載してください。

<推移> **前回までに報告した当該プロジェクトの売上について記載**

(単位:千円)

販売時期	～ 年 月	～ 年 月	～ 年 月	～ 年 月	～ 年 月	～ 年 月
販売数						
売上金額						

○売上原価 (直近決算期間について記載。税抜)

(単位:円)

原価費目	数量	単位	単価(円)	原価金額(円)
<b>材料費等</b>				
売上原価合計				

9(1)②に金額を記載してください。

7 成果の波及効果の状況

(注2) 当該報告期の事業化等の状況について、提案時の目標及び計画に対する成果や、市場動向の状況に係るコメント等を記入してください。

8 当該補助事業に係る事業継続

(1) 補助期間終了後の事業継続期間：令和 年 月 日～令和 年 月 日

(2) 事業継続の内容(事業の状況等)・成果

(注3) 事業継続が必要な背景や、本事業によって得られたデータ、製品・試作品等の写真、関連する新聞記事等を添付し、当該報告期の内容・成果をまとめてください。

(3) 継続事業費等

【補助対象経費】

(単位:円)

費目(税抜)	前期までの累積額 (年月～年月)	今期の事業費 (年月～年月)	合計(累積)
旅費			
直接人件費			
材料・消耗品費			
財産購入費等 備品購入費等			
外注・委託費			
その他直接経費			
合計			

○補助事業期間と同様、根拠書類の整備が前提です

○初回報告時は、各年度の補助事業の実績報告書(第7号様式別紙2)経費支出明細表(総括表)の支出合計金額を記載してください。  
※補助事業開始前の事業費は対象となりません。  
○2回目以降は、前回の「前期までの累計額」と「今期の事業費」との合計を記載してください。

※当該補助事業に関して、国等の補助制度により資金支援がされている場合は、補助制度名や採択年月日、資金

支援額、支援期間等の情報について記載(事業費は国等の補助金は、除いて記載)してください。

9 当該補助事業により取得した利益の状況

(1) 自社商品化、事業収益に基づく当期利益(産業財産権のクロスライセンスによるものを含む)

(単位:円)

項目	金額	金額の内訳
収益{=6(2)の売上合計}(…①)		
売上原価{=6(2)の売上原価合計}(…②)		
販売費及び一般管理費(…③)		
事業利益(…④=①-②-③)(利益(1))		

※③:当該プロジェクト部分の範囲は、別途ヒアリングの上、調整(以下同様)

(2) 産業財産権のアウトライセンス及び実施結果の他への供与による当期利益

(単位:円)

項目	金額	金額の内訳
収益{アウトライセンス及び供与によって得た収入による当期収益}(…①)		
要した経費(…②)		
(利益(2))(=①-②)		

10 収益納付額②に金額を記載してください。

(3) 当該補助事業により取得した当期利益の合計

事業収益等による当期利益の合計=利益(1)+利益(2) =

10 収益納付額

(単位:円)

項目	金額
補助金額(…①)	京都産業21から通知した補助金の確定額を記載してください。
補助事業に係る本年度収益額(…②) (当該補助事業により取得した当期利益 [9(3)「事業収益等による当期利益の合計」])	
控除額(…③)	(補助対象事業に要した経費の総額-①)/5
本年度までの補助事業に係る支出額(…④) (事業費累計[=8(3)【補助対象経費】合計])	
基準納付額(…⑤=[②-③]×①/④)	小数点以下を切り捨ててください。
前年度までの補助事業に係る財団への累積納付額(…⑥)	

本年度納付額（※1）	
------------	--

※1 「本年度納付額」とは、基準納付額⑤と累積納付額⑥の合計が補助金確定額①を超えない場合には、基準納付額⑤が本年度納付額になります。また、基準納付額⑤と累積納付額⑥の合計額が補助金確定額①を超える場合には、補助金確定額①から累積納付額⑥を差し引いた金額が本年度納付額になります。